

広報

お祝い

題字：水上勉

3

祝 おおい町 はたちのつどい

Mar. 2025 No. 227

令和7年おおい町はたちのつどい





令和 7 年 おおい町はたちのつどい ～ coming of age ceremony ～



「令和7年おおい町はたちのつどい」が1月12日（日）に総合市民センター大ホールで行われました。

今年は、86人（2004年4月2日から2005年4月1日生まれ）が20歳を迎えました。

出席者を代表し、なかがわ だいすけ中川 大輔さんが「1人で乗り越えようとする強さも大切ですが人に助けを求められる正直さも大切だと思えます。それぞれ進む道は違えど、このおおいをふるさととする者同士、これから困った時には助け合い、支え合いながらいい大人として責任をもって生きていきたいと思います。」と力強い決意を述べました。

昨年続き、今年も、20歳を迎える皆さんには式の様子をそのまま閉じ込めた「特製フォトブック」を贈呈させていただきます。



名田庄地域



大飯地域



高石ともやさんを偲んで^{しの}

～ ずっと名田庄と共に ～

1941年生まれ。北海道雨竜町出身。

代表曲は、「受験生ブルース」、「想い出の赤いヤッケ」、「陽気にゆこう」、「街」など。

1960年代日本フォークソング創成期に全国各地でメッセージ・フォークを歌い巡り、「メッセージ・フォークの旗手」などとも呼ばれました。

芸術家・大関八^{おおぜきはっせん}仙さんの紹介で1969年から名田庄村に一家で移住し、廃校となった奥名田小学校などで約13年間暮らされました。

1971年に結成したグループには、愛着のある「名田庄」をもじって「ザ・ナターシャー・セブン」と命名。

全国に「名田庄」の名前を広め、文化・スポーツ活動を通じて、身をもってふるさとに誇りと愛着を持つように努めるなど、名田庄村の地域活性化に多大な貢献をしたとして、1982年に名田庄村名誉村民の第1号となりました。

2024年8月17日に82歳でお亡くなりになりました。



「陽気に行こう♪高石ともやが帰ってくる!」

高石さんは名田庄から出られても、ライブや講演会など、幾度と名田庄に来ていただきました。最後に名田庄に来られたのは、平成30年6月に里山文化交流センターで開催された第11回郷土の人「陽気に行こう♪高石ともやが帰ってくる!」です。このイベントで、高石さんが話された名田庄のエピソードを抜粋して紹介します。

『日本が高度経済成長期、都会へ都会へという中で名田庄を選んだ。生き方がゆっくりに自分の早さで生きていた。僕にぴったりだった。』

『僕は名田庄でマラソンを始めたんです。「ランナーズ」という市民マラソンの雑誌があった、その編集長が名田庄に来てくれた。ランナーズがホノルルマラソンに行こうと誘ってくれた。初めてのフルマラソン。ホノルルから帰ってすぐに福井のフルマラソンに出て2時間59分55秒。3時



【走り込みをする高石さん】

間を切っていました。下から久坂、井上、納田終までよく走っていました。』

『ここで育ったというだけで感動する。歌いながらたくさん発見したし、ゆっくり丁寧にやってきて良かった。』

『数字とかではなく感動があったと改めて思う。それが名田庄村。何か成果があったとかではなくて、一緒にやってたね、生きてたねっていう実感。』

『計算してなんとか、ってものじゃないんです。計算が出来ないものですから。人情とか人とのやり取りは。13年間いさせてもらってこんなに良い歌が生まれました。どうもありがとうございます。』

高石さん、思い出をありがとう

高石さんが名田庄村に13年間居住されていた当時に、親交のあった町の皆さんが中心となり、追悼イベント「ありがとう、高石ともやさん」が1月18日（土）に里山文化交流センターで行われました。

このイベントには、県内外から昼夜合わせて約300人もの人たちが駆けつけ、親交のあった人々たちによる思い出の紹介や「ザ・ナターシャー・セブン」の楽曲をコーラス、高石さんのエッセイ朗読などが行われました。

思い出の紹介では、学生時代に高石さんからフリスビーの投げ方・知らなかった遊びを教えてもらったエピソードや、村民体育大会マラソンの部で1位を争った相手が高石さんで、走ることに自信を持つようになった、など名田庄村の村民に溶け込み生活する高石さんの気さくで優しい人柄が分かるエピソードがたくさん語られました。

夜の部では、オール「ザ・ナターシャー・セブン」ソング・ライブと題して、町内や近隣市町の演奏家などが大勢集まり、代表作の「受験生ブルース」や「街」、「ハイ・ハイ・ハイ」などを演奏しました。最期には「ランプリン・ボーイ」を全員で合唱するなど、イベントに参加された皆さんが一体となって高石さんとの思い出を偲ばれていました。



【来場者全員による合唱】

追悼イベントのもう一つの催しとして、1月8日（水）から1月20日（月）まで里山文化交流センターのエントランスギャラリーで、「ありがとう、高石ともやさん展」が行われました。

高石さんが名田庄村で生活していた当時の写真やレコードなど、記憶・思い出に残る資料が展示されていました。

展示会場には、「高石さんとの思い出話」のコメントを展示するコーナーも設置され、大勢の人たちが、高石さんとのかけがえのない思い出を共有していました。エピソード



【ありがとう、高石ともやさん展】

ドの中には、「ともやさんの住む奥名田小学校に遊びに行つた際に、マーチンギターを弾かせてもらったり、フィドルの弾き方を教えてもらった」ことや「南川でゴムボートに乗って川下りをしているともやさんの後ろをトラックタイヤのゴムチューブに乗って追いかけていました。川での遊びを教えてもらいました」など当時の高石さんと村民との交流エピソードが数多く寄せられていました。寄せられた思い出話は名田庄図書館で「高石ともやさんの記録」として保管されます。



【高石さんとの思い出話コーナー】

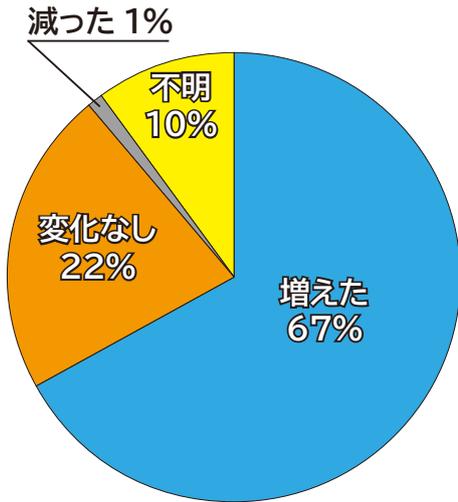


アプリの活用が歩数や活動量の増加につながっています！

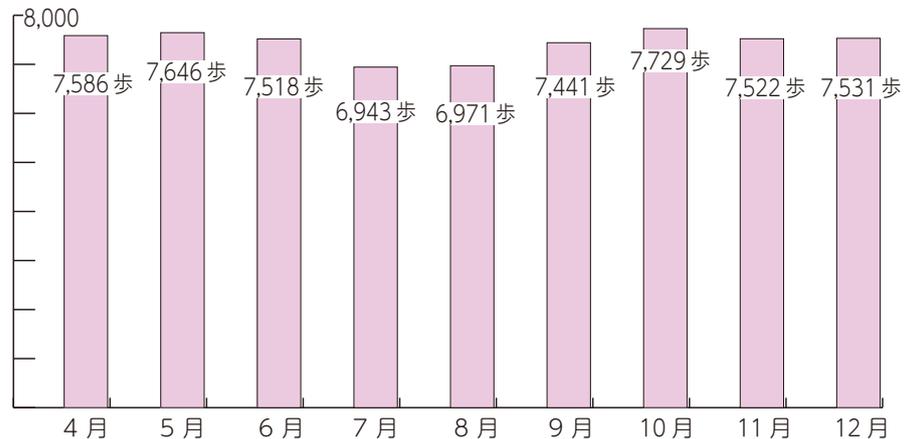


町内のスポーツタウンウォーカーをお使いの方に実施したアンケート結果より、67%の方がアプリ利用前と比較して活動量（歩数）が増えたと回答しました。

Q. アプリ利用前と比較して歩数に変化はありましたか



おい町ユーザーの1日平均歩数【2024年】



猛暑日が続く夏場は平均歩数が下がりましたが、各月7,500歩前後でした。

1日の歩数の目標は？

対象者	推奨1回歩数
18歳～64歳	8000歩以上
65歳以上	6000歩以上

出典：厚生労働省健康づくりのための体活動・運動ガイド2023

推奨歩数より少ない人は・・・

- ・こまめに動く
- ・少し遠くの駐車場に車を停める
- ・階段を利用する など

日常生活の中で歩数を増やし、まずは、**15分(約1500歩)**多く歩くことを意識することから始めてみましょう！

◆ アプリダウンロードのサポートを下記窓口で行っていただきます。

- ・すこやか健康課（保健福祉センター）
- ・保健福祉室（あっとほ～むいきいき館）

受付時間：平日8時30分～17時15分（祝日は除く）

毎日の歩数や健診の受診でポイントが貯まります！貯まったポイントは景品に交換！



健康づくりでポイントを貯めよう！



～ アプリスポーツタウンウォーカーをご利用中の人へ～

3月1日から3月31日は、ポイント交換申請期間です。貯まったポイントを景品に交換しましょう。



期間中に、アプリ内から申請が必要です。詳しくは、アプリ内のお知らせまたは左記 QR コードより町のホームページをご覧ください。

問 すこやか健康課 ☎ 77-1155

農作業安全運動の実施について

国では、全国の関係機関の協力の下、毎年春作業が行われる3～5月に『春の農作業安全確認運動』を実施しています。



農業において、毎年300件前後の農作業中の死亡事故が発生し、10万人当たりの死亡事故件数も他産業より大幅に高い水準となっており、作業安全対策の強化は喫緊の課題となっています。死亡事故の約70%は農業機械作業中に起きており、中でも、乗用トラクターが最も高い状態にあります。

乗用トラクターを運転する際は、事故防止対策や被害軽減対策などを行い、安全性の高い農業機械を正しく使用するようにしましょう。

転落・転倒対策を徹底しよう！

- ◆ シートベルトとヘルメットの着用
- ◆ 安全フレーム付きトラクターの利用
- ◆ 危険箇所での減速、危険箇所の迂回ルートを設定する
- ◆ 道路端や曲がり角の草刈りや路肩の補強を行い危険箇所を改善する 等



令和7年度おおい町 農業者労働災害共済について

農業機械の導入が進み、農業経営において生産向上に大きな役割を果たしています。その一方で、農業機械の利用に伴う農作業事故が発生し、年間10万件の農作業死傷事故が発生しています。こうした農作業事故をなくすために、農業者一人ひとりが、安全対策の意識を高めていく必要があります。

また、農作業中の万一の事故に備え、農業を営まれている人は、おおい町農業者労働災害共済にぜひご加入ください。

■ 加入対象者

- ① 水稻10アール以上、または麦10アール以上を耕作する人
- ② 所有する農地が①を満たす人で、農地を貸付けまたは作業を委託し、かつ自身も農地を管理する人
- ③ 畑作物を5アール以上耕作する人

■ 掛金

1農家200円と10アールあたり50円または家畜1頭あたり20円

※ 農家組合長さんを通じて農家の皆さんには加入申込書をお配りしています。詳しくは、農林水産課までお問い合わせください。



おおい町農業者労働災害共済制度について

問 農林水産課 ☎ 77・4055

おおい散歩



koho ooi

広報担当の木下です。普段は地域おこし協力隊の張本隊員が取材を行っている地域おこし散歩のコーナーを、今月は私が担当させていただきます。

今回は、株式会社おおいのきのこセンターが2年前に取得したJGAP認証の更新をされたということをお聞きしたので、きのこセンターの所長・谷崎彰彦さんにお話を伺いました。普段聞きなじみのないJGAP認証とはどんなものなのか、取得に際して大変だったことや今後について尋ねました。

株式会社おおい きのこセンター 所長

たにぎき あきひこ
谷崎 彰彦

株式会社おおいが運営するきのこ栽培施設と菌床製造施設であるきのこセンターで所長を務める。生産工程や品質管理を徹底し、農場管理の「見える化」を図るなど、安心して安全なきのこ生産に取り組む。



安全で安心を届けるために

木下 株式会社おおいのきのこセンターがJGAP認証を更新されたとお聞きしました。JGAPとはどういうものなのでしょうか。

谷崎 簡単に説明させてもらうと、JGAPというのは生産工程から出荷にいたるまでの全体の流れに対する評価ですね。商品そのものの「品質がいいと評価された」という風に認識されている人も多いのですが、正確には違うんです。よく勘違いされますが。

木下 「生産物」ではなく「生産工程」に対する評価なのですね。

谷崎 そうです。例えば、この建屋では主にしいたけを生産しているのですが、その生産工程の中で「整理整頓はされているか」「みたいな基本的なことから、「商品に対するトレーサビリティはどうしているか」、「労働環境で差別が行われているか」、「周辺の生息する外来種は把握しているか」みたいな審査項目が130項目くらいあり、全てに合格しないとJGAP認証は取得できないんです。

木下 130項目もですか。

谷崎 三森の建屋で作っている菌床は、町外にもたくさん出荷しているのですが、外部委託先での取扱いも認証の審査項目に入っているため、かなり厳格な認可ですね。

木下 そのJGAP認証を初めて取られたのはいつなのでしょう。

谷崎 取得は2年前の令和5年の1月でした。取得準備はその2年前から進めてました。きのこ類と菌床でJGAP認証を取得しました。きのこ類の認証取得は福井県で初めて。特に、菌床は全国で初めてでした。JGAP認証を知っている人たちの間では結構騒がれたんですよ。新聞社やテレビ局からもいろいろと取材されました。



◆ 緊急時の対応や出荷先などの「見える化」

木下 JGAP 認証を取得されたきっかけをお聞かせください。

谷崎 初めはJGAP 認証のこと自体知らなかったんですよ。たまたまJAの職員さんから福井県で「GAP 実践事例集 現場安全プロジェクト」というものがあって、生産管理の評価がもらえるから挑戦してみないかと声を掛けてもらったのがきっかけですね。実際にこの取り組みをやってみて、もうちょっと頑張ったらJGAP 認証というすごいものが取れるよ、と教えていただきました。ここまでやったんだし、それなら本腰入れて認証取りにしようとなりましたね。



◆ 菌床しいたけ

木下 JGAP 認証を本格的に取りに行くにあたって、どんなことが大変でしたか。

谷崎 現場で大変だったことはあまりないんです。整理整頓などを細かく見直したりはありましたが、現場はほぼJGAP 認証の工程管理レベルでしたので。収穫量であったり、栽培温度のようなデータ類をまとめたりする事務作業が大変でしたね。事務書類関係のチェックは特に厳格で審査員の人たちは朝から晩までチェックされていました。認証を受けてみて、一番大変だなと感じるのは初回審査よりも継続して更新することですね。



◆ 選別・梱包工程

木下 取得時よりも更新の方が大変ですか。

谷崎 1度取得したけど次は更新できませんでした、では品質管理においては何も意味がありませんから。現時点で認証されていることに意味があるんです。品質管理、農場管理のずさんな現場では、「良い生産物」はできないと考えています。今後の課題としては継続・維持して認証取得を絶やさず品質向上に努めていくことですね。職員の皆さんも、JGAP 認証を受けてから確実に品質管理への意識が向上しているのので、認証取得して良かったと思っています。



◆ JGAP 認証農場マークの入ったしいたけ

木下 JGAP 認証を取得した食品が、EXPO2025大阪・関西万博の飲食店で使われるという話を聞いたのですが。

谷崎 実はきのこセンターで生産したしいたけが候補の1つにあがっているんです。また選考段階なので、期待して良いお返事を待っているところです。もし万博の選考に受かったら、おい町のしいたけは素晴らしい品質だと全国にアピール出来るまたとない機会ですので、ぜひとも期待したいです。

編集後記

今回取材に行かせてもらうまでは、谷崎さんもおっしゃられていたように「JGAP 認証を取った」＝「品質のいい商品」だと誤解していました。取得に向けて2年前から準備をされていたという話を聞いて、品質の向上は一朝一夕で出来るものではなく、日々の積み重ねが非常に大事なのだと分かる取材でした。

【広報担当】 木下 裕也



地域のカルテ

名田庄診療所長 中村伸一

赤ひげ大賞を受賞しました

新年早々、サブライズさせるつもりはなかったのですが、1月8日に日本医師会から発表があり、第13回赤ひげ大賞を受賞しました。

赤ひげ大賞は、地域の医療現場で健康を中心に地域住民の生活を支えている医師にスポットを当て、その活躍を顕彰することで各地の医療環境整備、医療活動の充実に寄与することを目的として、平成24年に日本医師会と産経新聞社が創設したものです。毎年、5名の医師が表彰されます。

赤ひげ大賞のネーミングに関しては説明不要とは思いますが、山本周五郎の時代小説「赤ひげ診療譚」に登場する主人公の医師、新出去定（…通称「赤ひげ」）に由来します。赤ひげは、口数少なく無骨ですが、厳しい現実から決して目を逸らすことなく、徒勞と知りつつも貪しく不幸な人々の救済を願い、医師として最善を尽くす人物です。実は、赤ひげには実在したモデルがいます。江戸時代中期に貧民救済

「自分がこの地域を支えるんだ」と意気込んでいましたが、10年ほど経つと、自分の方が地域の方々から支えられていることに気がつきました。今回の受賞は、中村個人ではなく「オール名田庄」での受賞だと感じています。これまで朝日、読売、毎日、中日、日経など全国紙から取材を受けた経験はありましたが、今回の受賞で、主催者である産経新聞社から初めて取材を受けました。昭和一桁生まれの亡き父は7年前に亡くなりましたが、元産経新聞社の記者でした。生きていれば、本当に喜んでくれたと思います。

施設である小石川養生所で活躍した小川笙船です。恥しながら、今回を受賞がきっかけで初めて知りました。

この賞の審査員には、日本医師会の常任理事や産経新聞社の取締役、論説委員、厚生労働省医政局長らだけでなく、女優の檀ふみさんや宇宙飛行士の向井千秋さんも名を連ねています。

平成3年に名田庄診療所に赴任して、途中2年間は離れますが、通算での勤務はちょうど32年になりました。この間、名田庄で医師として育てていただきました。若いころは生意気にも

「自分がこの地域を支えるんだ」と意気込んでいましたが、10年ほど経つと、自分の方が地域の方々から支えられていることに気がつきました。今回の受賞は、中村個人ではなく「オール名田庄」での受賞だと感じています。

2月21日に都内で表彰式とレセプションが開催され、レセプションには秋篠宮ご夫妻も出席され、懇談の機会もあります。緊張せずに自然体で臨みたいのですが、そのようにできるでしょうか。次回、報告いたします。

「自分がこの地域を支えるんだ」と意気込んでいましたが、10年ほど経つと、自分の方が地域の方々から支えられていることに気がつきました。今回の受賞は、中村個人ではなく「オール名田庄」での受賞だと感じています。

こちら 老健なごみです

多職種間の連携

老健なごみではさまざまな職種が利用者のケアに当たっています。介護士、看護師、理学療法士、管理栄養士、相談員が協力し、それぞれの専門分野で利用者様を支えています。

担当者会議を行い、ADL（日常生活動作）、QOL（生活の質）の維持や向上等について担当者で話し合い、どのようにケアを行うかを決めていきます。

例えばADLの維持・向上については、利用者さんのできることを奪ってしまわないように声掛けを行い、ご自身でできることはできるだけさせていただくように支援しています。

QOLについても、一人ひとりがその人らしく快適に施設生活を送って頂けるように利用者さんとコミュニケーションを取り、各職種で協力して福祉用具の選択や環境整備を行っています。

職員1人で利用者を支えるのではなく職員全員で支え、常に利用者さん主体の質の高い介護サービスの提供を心がけ、利用者ご家族の皆さんが快適に自分らしい日常生活を送れるように支援しています。今後ともご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。

おおい町保健・医療・福祉総合施設 介護老人保健施設
〒919-2111 おおい町本郷 92-51-1
TEL.77-3184 FAX.77-3388

入所のご相談や老健なごみについてお問い合わせの場合は、支援相談員（77-3184）までお問い合わせください。

～ あれこれ決められなくなる前に！ ～

知っておこう！成年後見制度

成年後見制度とは、判断能力が不十分な人の権利や財産を守り、意思決定を支援する身近な仕組みです。

法定後見制度

すでに、判断能力が不十分な人に代わって、法律行為をしたり、被害にあった契約を取り消したりする制度

任意後見制度

今は元気だが、将来、判断能力が不十分になった時に備えておく制度

不十分

補助類型

最近、物忘れが出てきたかと思う時がある



自分で出来ることも多いが、重要な契約の時に一緒に判断してくれる人が欲しい

本人の同意が必要



【判断能力】

著しく不十分

保佐類型

本人はしっかりしている時もあるけれど……



判断に迷うような重要な契約の時に一緒に判断してくれる人が欲しい



できない

後見類型

本人がしっかりしている時はほとんどない



あらゆる契約や手続きの時に本人の代わりに判断してくれる人が必要だ



私は元気です。自分で何でも決まられます。将来1人で決められなくなった時が心配。今から何かできないかな？



支援してくれる人を選ぶ
支援の内容を決める

公証人役場で任意後見契約を結びます。契約内容を公正証書にします。



判断能力が不十分になった時

家庭裁判所への申し立て 家庭裁判所が適任者を後見人等に選任



補助人

本人に代わって金銭の管理や生活支援を行います。また重要な契約などの同意や取り消しをします。



保佐人

金銭管理や生活支援などを本人に代わって行ったり、その同意や取り消しを行います。また重要な契約などの同意や取り消しをします。



後見人

日常生活に関する行為を除く、全ての法律行為を代わって行ったり、必要に応じて取り消します。



任意後見監督人

任意後見人が契約の内容通り、適正に行っているかを監督します。



任意後見人

任意後見契約であらかじめ定めておいた財産管理や生活・療養・看護に関する法律行為を代わって行います。

もっと詳しく知りたいときは、成年後見センターにご連絡ください。みなさんのつどいの場で出前講座も開催できます。

～お問い合わせ先～ 成年後見センター ☎ 77-2770



「おおい町交通安全祈願祭」が執り行われました。若狭交通安全協会おおい支部や町の交通安全団体関係者らが集まり、今年1年の交通安全を祈願しました。(1月15日(水) 総合町民センター)



「新春演芸会」が行われました。落語家の林家染太さんによる子どもから大人まで楽しめる落語のほか、南京玉すだれなどのパフォーマンスが行われました。(1月19日(日) ふるさと交流センター)



大飯図書館は令和7年1月18日(土)に30周年を迎えました。開館30周年を祝し、1月17日(金)には来館者とともにセレモニーが行われ、大いに盛り上がりました。(1月17日(金) 大飯図書館)



文化財火災防ぎょ訓練が行われました。建造物や無形文化財などの文化財を火災から守り、防火対策を強化するため、全国文化財防火デーの一環として防火訓練を実施しました。(2月1日(土) 妙応寺)



「伝承料理教室」が行われました。丸栄菓舗より猿橋純さんを講師に招き、生涯学習推進委員と一緒に昔ながらのでっちようかんの作り方を教わりました。(1月26日(日) ふるさと交流センター)



令和7年おおい町消防出初式
 「令和7年おおい町消防出初式」が行われました。佐分利川に向けての一斉放水・観閲式の後、消防団員は総合町民センターまで力強く整然と行進しました。
 (1月8日(水) おおい町本郷)



今年の新暦1月29日に旧暦の元日を迎え〈初春〉となりました。年賀状によく書かれる初春です。よって新暦2月が大体春の始まりの月となり、今月28日から本格的な春になる旧暦の二月〈中春〉に入ります。この号が出る頃はたぶん春めいてきている……はず(笑)

旧暦と新暦では四季の区分が違います。一般的な気象庁の季節区分では新暦3月から春とされています。3・4・5月が春ですね。対して旧暦では一月が春の始まりで一・二・三月が春です。旧暦は新暦より約1ヶ月遅れとなるので、春本番となる旧暦二月の中春が大体新暦の3月になります。

新暦と旧暦では年間11日の差があり、3年に1回程度閏年を入れて季節がズレすぎないように調整しています。その関係で旧暦の季節が新暦上で

毎年前後にゆれ動きます。春本番の旧暦二月も新暦3月上を前へ行ったたり後ろへ行ったたりします。

このズレを見ていれば春が早いとか遅いとか分かるわけですが、ちなみに前号でも書きましたが、今年は春が早目になると思います。なので今頃はすでにフキノトウのほろ苦さを楽しんでいる……はず(笑)

【社日】社日の「社」は生まれた土地の産土神のこと。今ではあまり馴染みがないですがこの日は神様へお参りする風習がありました。五穀を供えて豊作を祈ったそう。

春秋の2回ある春の社日は春分に最も近いつちのえの日で、今年春分の日が社日でもあります。神様に感謝です。

「旧暦カレンダー」は道の駅うみんぴあ大飯・道の駅名田庄にて販売中。お試しください。

(一社) 南太平洋協会公認
旧暦イラストレーター 中村賢一

◆ 自然体験活動の使命



自然体験活動は、野外に限ったことではないのですが、やっぱり外での活動は、魅力的です。でも、野外活動では、晴れの時と雨の時と、2つのパターンを常に用意しておく必要があります。

活動場所と季節により、多少の差はあるのですが、プログラム作りには苦労する場合があります。荒天のため中止しなければならぬ判断もそうですが、曇り空や少雨の日の活動は、ヤキモキします。

ところが、最近は天気だけのヤキモキでは、済まなくなってきました。この頃の異常気象では、季節ごとのプログラムが組めないような時も、多々あります。

ここおい町でも毎年2月は当たり前のように雪遊びの体験活動を計画していました。でも、去年はとうとう積雪が無くて雪遊びができませんでした。さらに、夏は四十度近くの気温で熱中症が心配で、川遊びも

できない場合が出てきています。最近、気候のこともヤキモキなんです。

「おんも」で遊ぶことがいかに子どもたちの成長にとって大切かは、福井県も「教育に関する大綱」に『自然環境に恵まれた本県の特長を活かし、自然体験や宿泊学習を通じて、たくましさや社会性を育てる「アウトドア教育」を積極的に推進します。』としています。

自然の中で遊べなかった子どもたちが作る日本の未来は、どんな社会になつてしまうのでしょうか。戦争を知らない子どもたちが平和の尊さを実感できなくなつてしまわないように、経験者たちが語り継ぐように、私たち自然体験活動に関わる者たちは、そのことをしっかりと自覚と使命を持って、活動すべき時代になつたようです。



NPO 法人森林楽校・森んこ
代表 萩原茂男

名田庄図書館

☎ 67-3703

おはなしのへや

2日(日) 11:00～11:30

対象 幼児～小学3年生

内容 絵本の読み聞かせと簡単な工作をします。



布絵本の会

5日(水) 13:30～16:00

内容 名田庄図書館に置く布絵本を作ります。(図書館ボランティア)

※随時メンバーを募集しています。

出張図書館

7日(金)、27日(木) 11:00～11:30

場所 あつとほ～むいきいき館

内容 本の貸出をします。

読書会「源氏物語を読む会」

13日(木) 13:30～15:00

テキスト 紫式部ひとり語り 山本淳子 / 著

※随時メンバーを募集しています。

レコードサロン

16日(日) 14:00～15:00

内容 ・懐かしい昭和のレコードを聴きます。

・図書館員による朗読を聞きます。

定員 15名

参加費 100円(飲み物代)

おおい町公式ホームページで

随時公民館・図書館情報を

発信中です!!詳しくは、

こちらのQRコードを

読み取ってください。



ビブリオバトル(オンライン)

9日(日) 10:00～11:00

対象 高校生～一般

内容 自分の好きな本を5分で紹介し、参加者全員で一番読みたい本(チャンプ本)を決定します。

3月2日(日) 午前10時から動作確認を実施します。

定員 5名

ほんやくサークル

23日(日) 14:00～15:30

対象 中学生以上

内容 前回に引き続き絵本「A Lost Butten」の翻訳に挑戦します。

はっちゃん先生とあそぼう♪

25日(火) 11:00～11:30

語り手 松宮 初美氏 / 対象 0歳からの乳幼児と保護者

内容 絵本の読み聞かせとわらべ歌あそびをします。

クイズ「わたしはだれでしょう」

1日(土)～30日(日)

内容 館内にあるクイズに挑戦しよう!

※子ども読書推進イベント対象事業

持ったなら便利に使って得をする スマートフォン講習会と相談会



21日(金)

場所 本郷公民館(総合町民センター) / 講師 NTT西日本

内容 【講習会(初心者向け)】10:00～12:00

- ・スマホを安全に使用するためのポイント
- ・インターネットの利用方法 ・ラインの使い方 等

【相談会(個人相談)】13:00～16:00

- ・相談時間はおひとり25分です。
- ・相談内容を申込時にお伝えください。

定員 講習会 10名、相談会 12名

【申し込み・問合せ先】本郷公民館 ☎ 77-1140

活動報告

おおい町ジュニア・リーダーズクラブ

おおい町ジュニア・リーダーズクラブの1年間の活動報告です!

今年度も様々な子ども会活動やイベントに参加しました。写真で振り返ります♪



▲浜辺掃除



▲子ども会キャンプ



▲子ども会かるた大会



▲各種イベント協力





生涯学習掲示板 3月



本郷公民館

(総合町民センター) ☎ 77-1140

ドライフラワーアレンジメント

8日(土) 13:30～15:00

講師 戸野 好美氏

内容 ボックスフラワーを作ります。

定員 10名

参加費 1,800円(材料費含む) / 持ち物 ハサミ

ボクササイズ!

11日(火) 19:30～21:00

講師 二見 広信氏

対象 教室生 / 内容 ボクシングで体幹を鍛えます。

持ち物 軍手・タオル・飲み物・ヨガマット

初めての方でも大丈夫! Night Yoga 初級(全5回)

4月4日(金) 19:30～20:30

講師 Rina. 氏

内容 基本ポーズや体幹強化

定員 10名

参加費 500円

持ち物 ヨガマット・飲み物

※募集期間は3月11日(火)～3月21日(金)までです。

※申込多数の際は抽選とさせていただきます。

※新年度に開催する教室のため、現時点ではあくまで開催予定の教室となります。

※こちらから
申込できます↓



佐分利公民館

(ふるさと交流センター) ☎ 78-1211

太極拳教室

1日(土)、9日(日)、15日(土)、22日(土)、
30日(日) 10:00～11:30

講師 山下 暢以知氏

対象 教室生

内容 太極拳の動きを学びます。

参加費 1回100円

持ち物 動きやすい服装・厚底ではない運動靴

※募集を締め切りました。

脳トレ・マージャン教室

12日、26日(水) 13:30～15:30

内容 脳の活性化と仲間作りに。初心者のための教室です。

定員 16名

参加費 1回100円

大島公民館

(はまかぜ交流センター) ☎ 77-3011

し～まいるジム

8日(土) 9:00～12:00

講師 アクアマリンインストラクター

持ち物 飲み物・タオル

※自由に参加できます。



名田庄公民館

(里山文化交流センター) ☎ 67-3250

オープン☆ステージ

9日(日) ステージ開放時間 13:00～16:30

内容 ぶらっと大ホールのステージを開放します! 開放時間内のお好きな時間に当日受付でだれでも on ステージ!

- ・1グループ(もちろんおひとりでもOK!) 10分から15分
- ・カラオケの機械も設置予定! カラオケの場合は1回1曲です。(時間が空いていれば何回でも使用できます。)
- ・楽器演奏は楽器、機材は各自持ち込みでお願いします。
- ・ダンスや演劇、ピアノ(アップライトピアノを設置)の練習などにぜひご活用ください。

ミュージック・ケア

16日(日) 10:00～11:00

講師 松山 智恵氏

(NPO 法人日本ミュージック・ケア協会認定音楽療法士)

対象 1歳児～3歳児(保護者同伴)

内容 心身にこころよい刺激を与える音楽療法です。大人も子供も音楽にあわせて楽しみましょう。

定員 10名

持ち物 飲み物・バスタオル

春の和菓子教室

23日(日) 13:00～16:30

講師 谷川 イリーナ氏(和菓子職人)

内容 春の練り切り菓子を学びます。

定員 10名

参加費 800円(材料費含む)

持ち物 エプロン・三角巾・マスク・持ち帰り用の容器(練り切り菓子が3つ程度入る大きさのもの)

不妊治療費の助成申請はお早めに

令和6年度の不妊治療費にかかる町の助成は、**令和7年3月14日(金)**までに申請の手続きをされるようお願いいたします。この日までに手続きをすることが困難な場合は、お早めににご相談ください。

助成の対象となる経費

不妊治療に要する検査費および診療費(令和6年度分)

助成を受けることが出来る人(次の全てを満たしている人)

- ・治療開始時点において法律上の婚姻関係または事実婚姻係にあり、夫婦のいずれかがおおい町に1年以上住所がある人
- ・不妊治療以外の治療法によっては妊娠の見込みがないか、または極めて少ないと医師に診断された人
- ・各医療保険に加入している人
- ・町税の滞納がない人

※詳しくは、町のホームページを確認ください。



おおい町 不妊治療費助成事業

問 子育て世代包括支援センター

☎ 77・1155

ふくいの鉄道・バス合同企業説明会を開催します

県内の鉄道・バス事業者が参加する合同企業説明会を開催します。地域公共交通を担う鉄道とバスの仕事について一度に聞けるまたとない機会です。興味がある人はぜひご参加ください。

日時・場所

・3月9日(日) 14時〜16時
・フェニックス・プラザ地下大会議室
(福井市田原1丁目13-16)

対象者

・学生、社会人どなたでも参加可能

参加事業者

- ・鉄道事業者3社(福井鉄道、えちぜん鉄道、ハピラインふくい)
- ・バス事業者7社(京福バス、福井鉄道、鯖江交通、池田観光、越前観光、オクエツ観光、ニュー交通観光)

※詳しくは、福井県鉄道協会、または福井県バス協会にお問合せ下さい。

問 福井県鉄道協会

(事務局)ハピラインふくい

☎ 0776・20・0294

問 福井県バス協会

☎ 0776・34・1730

JR若狭本郷駅で指定席乗車券が購入できなくなります

3月中旬よりJR若狭本郷駅で指定席乗車券が購入できなくなります。詳しい内容は、西日本旅客鉄道株式会社金沢支社にお問合せ下さい。

種類	これまで	3月中旬
普通乗車券	○	○
自由席特急券	○	○
指定席特急券	○	×
通学定期券	○	○
通勤定期券	○	○



西日本旅客鉄道株式会社



JR西日本列車運行情報

問 西日本旅客鉄道株式会社

金沢支社 駅業務課

☎ 076・254・3017

鳥獣被害をみんなで身近に考える研修会

イノシシ・シカ・サルからの被害防止対策として、防護柵の設置方法をテーマに研修会を行います。おおい会場では、メイン会場(敦賀)からの中継での聴講となりますが、質疑応答は可能です。ぜひご参加ください。

日時・場所

3月1日(土) 13時30分〜16時
おおい町総合運動公園 悠久館
(定員50名)

※詳しくは町のホームページをご覧ください。農林水産課までお問合せ下さい。



鳥獣被害を身近に考える研修会の開催について

問 農林水産課 ☎ 77・4055

新任人権擁護委員の委嘱について

人権侵害からの被害者の救済や、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行う人権擁護委員として、仲瀬恵さん(岡田)が、令和7年1月1日付で法務大臣から委嘱されました。よろしくお願いたします。

問 住民窓口課 ☎ 77・4053

人権悩みごと相談

里山文化センター
3月19日(水) 10時～12時

日頃の悩みごと、いじめ、不登校、体罰、その他人権に関する相談に人権擁護委員が応じます。相談は無料で秘密は固く守られますのでご安心ください。

旧優生保護法補償金の請求を開始しています

旧優生保護法に基づく不妊手術・人工妊娠中絶等を受けた人に対して、国が補償金等を支給します。

■ 請求受付

1月17日(金) から開始

請求手続き等の詳細は福井県ホームページをご覧ください。
※秘密は厳守されます。



福井県
旧優生保護法補償金等
支給法に関する受付・
相談窓口について

問 福井県子ども未来課

☎ 0776・20・0286

問 若狭健康福祉センター

☎ 0770・52・1301

「高等学校等通学費助成制度」の年度内申請について

高校3年生および町外の中学校等に通う3年生の保護者は、ご注意ください！

町では、高等学校および町外の中学校等に通う生徒の通学費の一部助成を行っています。

申請期間は在学中に限られるため、高校3年生および町外の中学校に通う3年生の保護者は3月末日までに申請をお願いします。なお、町外中学3年生は4月以降の高等学校通学分と合わせての申請はできませんのでご注意ください。

詳しくは、学校教育課までお問い合わせください。

問 学校教育課 ☎ 77・1150



おい町
高等学校等通学費助成申請
について

町 内交通事故発生状況 (2025年1月1日～1月31日)

人身死者	0件
死傷者	0人
傷物	0人
物損	10件

ゼロ
死亡事故 0 継続日数
1015日
(2025年1月31日時点)

進学サポート給付金の給付対象学校の拡大

令和7年度から、進学サポート給付金の給付対象となる学校を拡大します。

■ 新たに対象となる学校

- ① 高等学校専攻科(4・5年生)
- ② 日本の大学等に相当する海外の大学等
- ③ 外国大学(日本校)

(文部科学省の指定する学校に限ります。)

■ 申請時期について

変更ありません。

■ 添付書類について

これまでの書類に加えて、右の②の大学等の場合は、その国の公式な大学等であることが確認できる書類とその日本語訳を、また、在学証明書が日本語でない場合はその日本語訳を添付してください。

■ 留意事項等

◆ 高等学校専攻科(4・5年生)は、通学費助成の対象外となります。

◆ 日本の大学等に相当しない語学学校等への留学等は対象となりません。

※ 詳しくは、学校教育課までお問い合わせください。

問 学校教育課 ☎ 77・1150

令和7年度交通災害共済受付中！

交通災害共済は、交通事故に遭った際に、ご加入の皆さんが互いの助け合いによって、一週間以上通院または入院した際に、見舞金を受け取る制度です。

■ 対象者

おい町に住民登録がある人

■ 共済掛金

1人年額500円

■ 共済期間

令和7年4月1日(火) から
令和8年3月31日(火)

※ 中途加入の場合は掛金納入の翌日から

■ 加入方法

各家庭に配布させていただいた申込書に掛金を添えて、次の①～③のいずれかの方法でお申し込みください。

① 会計契約課、住民サービス室での申し込み

② 県内福井銀行窓口での申し込み

③ 区の取りまとめによる申し込み
(区の任意によります)

※ 詳しくは、防災安全課にお問い合わせください。

問 防災安全課 ☎ 77・4054

大飯発電所 消防出初式

1月9日（木）、大飯発電所では、自衛消防隊による消防出初式が行われました。

この出初式は、所員の防火意識を新たにするため毎年実施されているものです。日頃から厳しい訓練を行っている消防隊員が、発電所構内の吉見橋から海上に向けて一斉放水を行いました。寒さの厳しい日でしたが、青空の下、吉見橋には大きな虹が掛かりました。

大飯発電所は、今年1年間の発電所の防災・防火に向けて、士気の高揚を図ることができたとしています。



防災通信

令和6年度自主防災組織等活動研修会

2月16日（日）、おおい町里山文化交流センター「ぶらっと」において、町内区民や自主防災組織員約90名が参加し、災害時の応急手当、AEDを活用した心肺蘇生また、起震車による震度7の地震体験やエアートント内での煙体験など、災害対応力の向上を身に付けるための防災研修会を開催しました。参加者は、若狭消防署名田庄分署・大飯分署の職員指導のもと、日常生活にも役立つ実技の習得に向けて熱心に取り組みました。



【 心肺蘇生 】



【 起震車による地震体験 】



【 応急手当 】



【 消火訓練 】

戸籍の

窓

(敬称略)

令和7年1月1日から
令和7年1月31日届出まで 問 住民窓口課 ☎ 77-4053

赤ちゃん

名前	性別	保護者	住所
長峰 守玖	女	宏・摩依	本郷(15区)

ご誕生おめでとうございます。元気にすくすく育ててください。

おくやみ

名前	年齢	性別	住所
志村 久代	95歳	女	父子
東 幸治	87歳	男	名田庄小倉
赤井 正雄	89歳	男	本郷(5区)
嶋田 君子	87歳	女	名田庄三重
藤原 健治	87歳	男	三森
宮崎 充子	86歳	女	大島(河村)
森口 スミ子	97歳	女	名田庄井上
堀口 智寿子	94歳	女	岡田
松宮 政晴	79歳	男	岡安
上馬 清隆	76歳	男	名田庄三重
島田 茂	94歳	男	名田庄三重
田歌 昇	93歳	男	名田庄中
藤澤 須美江	86歳	女	犬見

ごめい福をお祈りします。

まちの人口!

令和7年2月1日現在	()は前月比
総人口 7,654人	(-26)
男 3,795人	(-15)
女 3,859人	(-11)
世帯数 3,265世帯	(-5)

【出生】 1人 【死亡】 19人

【転入】 10人 【転出】 18人

(令和7年1月1日~1月31日)

なごみ
いきいき

通信

3月

■ すくすく広場

保健福祉センターなごみ	6日(木)	10:00~
あっとほ~むいきいき館	14日(金)	10:00~

■ 乳幼児健診 ※対象者には通知します。

保健福祉センターなごみ	5日(水)	13:00~
あっとほ~むいきいき館	21日(金)	13:00~

■ 離乳食教室 ※対象者には通知します。

保健福祉センターなごみ	25日(火)	10:00~
-------------	--------	--------

■ ことばとあそびの広場はぐはぐ

保健福祉センターなごみ	18日(火)	10:00~
-------------	--------	--------

■ こころの相談会 ※要予約

あっとほ~むいきいき館	25日(火)	10:00~
-------------	--------	--------

■ 健康相談

保健福祉センターなごみ	毎週木曜日	9:30~
あっとほ~むいきいき館	毎週木曜日	9:30~

■ 問い合わせ

- 保健福祉センターなごみ すこやか健康課 ☎ 77-1155
- あっとほ~むいきいき館 保健福祉室 ☎ 67-2000

休日在宅当番医

2日(日) 若狭高浜病院	9日(日) 若狭高浜病院
16日(日) 堀口医院	20日(木) 若狭高浜病院
23日(日) なごみ診療所	30日(日) 若狭高浜病院

診療時間: 9時~17時

休日救急医療機関

小浜病院

広報紙に掲載された写真を提供いたします!

広報紙に掲載された写真データをご希望の人(本人、または家族)に無料で提供いたします。

■ 写真データの提供方法

事前に役場まちづくり課に連絡のうえ、空のCD-R等をまちづくり課窓口まで持参いただきますと写真データを入れてお渡しします。

詳しくはまちづくり課までお問い合わせください。

まちづくり課 ☎ 77-4051

ようこそ！おおい町へ！ 移住者交流会！



令和6年度第2回住者交流会が2月8日（土）に「笑や」（きのこの森園内）で行われました。

交流会には約30人が参加し、お餅つき体験を行いました。参加者は初めての餅つきに大盛り上がり。その後は、つきたてのお餅を丸めて、黒蜜やきな粉砂糖などのさまざまな味を楽しんでいました。体験を通して移住者同士が交流を深め、交流会は終始笑顔があふれていました。

町の公式 SNS が絶賛稼働中です！

町政情報やイベント情報などを、迅速に発信するために公式 SNS を運用しています。ぜひ、情報収集にご活用ください！



おおい町役場 X(旧ツイッター)



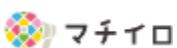
おおい町役場 防災 X(旧ツイッター)



おおい町役場 インスタグラム



おおい町役場 フェイスブック



広報紙をスマホから
↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓



編集後記

年が明けて、もう3月号の発行になります▼時間の過ぎる速度に毎度驚かされます▼3月と言えば「ひな祭り」が頭によぎりますね▼ひなあられやちらし寿司をよく食べていた記憶があります▼ひな祭りで食べられる「ひなあられ」や「菱餅」のカラフルな色には意味があるそうです▼諸説あるようですが、ピンクは魔除け、白は子孫繁栄、緑は健康を意味しているそうです▼菱餅の3色重ねる順番にも意味があるそうです、下から白、緑、ピンクだと、「雪の中から新芽が芽吹き、桃の花が咲いている」という春の情景を表しているそうです▼日本の伝統行事や文化にはさまざまな意味合いや願いが込められています▼それが廃れてしまわないように、今一度、込められた意味を調べてみるのもいいかもしれません▼(きの)